



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町 2-10) 例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

平成 28 年 4 月 26 日 (火) 第 2758 回 例会 (本年度第 37 回)

5月24日(火)	孟宗汁家族例会
5月31日(火)	振替休会 (6/18 鶴岡西RC50周年へ振替)
6月 4日(土)	移動例会 IAC地区年次大会
6月 7日(火)	①情報委員会の日(真島委員長) ②創立祝賀呈茶例会

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/



会長報告

会長/越智 茂 昭

1. 地区研修会・協議会参加有難う御座いました
加藤年度に向け準備をよろしくお願ひします。
2. 熊本県・大分県震災見舞金について
第 2800 地区として東日本大震災等地区災害等特別支援金より見舞金、100 万円を第 2720 地区ガバナーへ送ったということです。

☆地震の震源の深さ

熊本県・大分県の地震は余震が収まらず異例であり、震源の浅さも被害を大きくしている一因と言われています。震源は約 10Km と言いますが、シェール油田の深さが 2~3Km です。しかし、普通の地震は 200Km 以深が震源ですのでそれに比べればかなり浅いとも言えます。地球の半径は約 6,300Km です。200Km と言ってもごく地球の表面とも言えます。

私たちの頭の上、月までの距離は約 384,400Km ですが人も行ったことがあります。しかし、足下の地球の中は 3Km 程度でもパイプを通すのがやっとなのです。今後の研究は若い人に期待したいと思います。

幹事報告

幹事/武田 啓 之

○ガバナー事務所

- ①熊本地震へのお見舞金について
- ②ローターアクトについて活動のご報告
- ③ロータリーレート変更のお知らせ
110 円 / 1 ドル (5/1~)
- ④木村ガバナー補佐 5/17 例会訪問の件

○鶴岡西 RC

第 22 回出羽庄内国際村ワールドバザール

参加にあたっての希望調査について

○鶴岡東 RC

5 月の例会予定について

11 日 (水) 座禅例会 11:30 ~

18 日 (水) 通常例会 25 日 (水) クラブ休会

公益文化大学の役割について

(株) 荘内日報社 代表取締役社長 橋本 政之 氏



今日はお招きいただきましてありがとうございます。

卓話の前に、弊社で今回出版した落合良さんのエッセー集、値段は税込 950 円です。丸谷家の歴史と自分がソニーに入った中での話です。皆さんにお勧めいただければと思います。

それでは今日の本題に入ります。結論を先に言いますと、平田牧場を一代で興して 200 億企業を創った人が教育に投資するのが一番とおっしゃいます。そのため今大学改革を行っています。

東北公益文科大学は、公設民営の大学で 16 年前に 200 億円を投じて建設されました。その大学も正直溝に捨てられかけた歴史があるのです。

開学時の学部定員が 235 人でした。初年度は 280 人、2 年目が 250 人…と非常にいい成績で推移しました。その当時の高校 3 年生の数はピークで 3700 人です。今年の春で 2710 人と 1000 人減っているわけですが、今年の入学者は 201 人と 6 年ぶりに 200 人台を回復しました。開学から 10 年経ったあたりでは 150 人でした。この春の学部卒業生が 138 人、これが一番少なかったのです。

経営責任者である理事長は山形県の副知事が代々勤めていました。要するに経営の当事者意識を誰も持っていない、お金が足りなくなったら税金を入れ

出席報告

会員数	34名
出席	21名
出席率	67.75%
前々回確定出席率	83.87%

■RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン ■地区ガバナー 酒 井 彰

■会長/越智茂昭 ■副会長/木村 節 ■幹事/武田啓之 ■会長エレクト/加藤 亨
■会報委員会/佐藤詩郎・阿部純次・菅原成規

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

ればいいという経営を 10 年間やってきたのです。入学者が 150 人であろうが 130 人台になろうが初代学長、二代目学長それに職員はずっと給料が上がりっぱなしです。何故給料がこれだけ上がるのか、県職員の給料を参考にしているからです。当然お金が足りなくなります。200 億円で基金もたっぷりあるのですが、お金が回らなくなったらどうするのかというと、県や鶴岡市、酒田市に 1 億ずつ下さいという訳です。こんな楽な経営はありません。

山形の芸工大も 10 年間は県で定員割れ対策費的なお金を入れていたのですが、先般亡くなった経営の上手な理事長がやられてあれだけいい大学になりました。公益大の場合は 2012 年の春に荘内銀行フィデアの町田睿氏が学長に変わられて、新田理事長・町田学長コンビが誕生しました。大学を変えるのに 4 年間で費やしました。客員教授に寺島実郎さん、佐高信さん、佐々木毅氏など 8 人を入れたのがこの 5 年の間です。この 5 人のメンバーの人脉というのが新田理事長であり、町田学長です。建築家の安藤忠雄さんにも学生に直接自分の人生哲学や建築家になるまでを 3 回ぐらい講演していただきました。

大学改革の課題として授業料が高いということがありました。そこで給付型の奨学金をつくることや学費も安くするように努力を続けてきてきました。もう一つが海外留学です。留学費用の三分の二を助成、実際はもっと出ている学生本人の負担はあまり無いようなサポートを現在ではしているようです。留学しても留年しなくていいように、一昨年からきた吉村学長がクォーター制という制度をつくって学生が 3 年までの間に提携している大学にどんどん行けるようにしています。国公立まではいかないけれども、給付金の奨学金制度を利用して入れば海外留学を支援してくれるというところがだいぶ浸透してきて、我々は 4 年前に経営再建に動き出した時に、入学者が 200 人だったら単年度で先生方の給料を普通に払える。一時期ボーナスも全額止めました。理事長や学長と同じベクトルをもっていない方は自然と去っていましたが、この 2 年くらいでそれも整理ができました。

それからもう一つ 2 年目のときに「地の拠点」という私学ではどこも取れなかった文部科学省の指定が、もう 2 年あります。年間 5 千万円、5 年間で 2 億 5 千万円、これを人に投資できるのです。物を買うためのお金でなく、人に払うお金に使えるというのでこれも非常にいいものになって、教員や職員たちの研修、また経営と同じ方向を向ける教員の確保にも使いながらやってきて、その成果が今年です。新田理事長は昭和 8 年生まれですので退任の意向があったのですが、もう 2 年続けないと軌道に乗りませんということで留任をお願いしています。

4 学年が揃うと千人規模です。20 歳前後の青年男女が千人集まるのは庄内で他にあるでしょうか。

いろんな工場はあるでしょうが 20 歳前後の男女を千人規模で集められる機能があるのがこの大学なのです。大学が 16 年前に出来ていなければ、今から大学を造ろうと思っても文科省は絶対に許可しません。地方のどこでも今は大学の開設を文科省は許していません。国公立は大事にするけれども、私立大学は自然淘汰されなさいと。その中で生き残るためにはやはりもう 2 年か 3 年、できれば皆さんから公益大学をもう 2 ～ 3 年支えてもらおうとこういった機能を高めながら経営的にも成り立っていけると思いますし、これが成り立つと 10 年とか 15 年この人口減少の中で 3 年生が減っているのに単年度の学生 200 人に近づいていければ、逆にこの大学が庄内を支えているという評価に必ずなると思います。そのためにもう 2 ～ 3 年学生に受験させてもらう、できればいろんな形で入った学生を皆さんの企業や事業所で受け入れてもらう、そういった支援、あと冒頭で申し上げた後援会、これは常に門戸を開けて大学では電話を入れていただければ年会費の振込用紙がいきますのでよろしくお願いします。後援会も一つずつ増やしていくとそのネットワークが広がりますのでよろしくお願いします。

大学は、時代が求める人材を創ろうとしています。これからも皆様に応援していただきたいという事で卓話を終わりたいと思います。本日はありがとうございました。

橋本 政之 氏 略歴

昭和 30 年 鶴岡市生まれ 60 歳

山形県立鶴岡南高校卒 日本大学法学部卒

昭和 54 年 5 月 荘内日報社入社

平成 2 年 5 月 酒田支社次長

〃 12 年 5 月 取締役編成局長

〃 16 年 11 月 代表取締役社長 (第 6 代)

〃 24 年 4 月～現在

学校法人東北公益文科大学参与
後援会副会長

委員会報告

出席委員会

◆ゲスト

(株)荘内日報社 代表取締役社長 橋本 政之氏

◆メイクされた方

藤川享胤君 本間厚君 菅原成規君 大川淳君
西川富美子君



阿部純次君 橋本社長、忙しい中のスピーチありがとうございました。

富樫松夫君 橋本社長、スピーチありがとうございました。

真島吉也君 東北公益文科大学についての貴重なお話ありがとうございました。